

## 黒部峡谷下の廊下踏破行（H28. 10. 11～13）

石橋満雄

予てより冠松次郎氏の著書を読み一度歩いてみたいと思っていた下の廊下、今年は是非実行しようと同行者を募るメールで呼び掛けたが賛同者がなく、やむなく単独行で出掛けることになる。

時期は連休の混雑を避けて連休明けの10月11日からと計画したが、丁度広島カープが横浜 DeNAとのCS戦を控えていて野球の様子も気かけながらの山行となった。

### ・10月11日（火）

広島を8時に新幹線で出発、新大阪、名古屋経由で15時過ぎに信濃大町着、バスで扇沢へ、トロリーバスで16:20黒4ダム着。ダムから20分程度歩いた所にあるロッジくろよんに到着。宿泊者はほぼ満員、みんな下の廊下を目指すようである。



ロッジくろよん

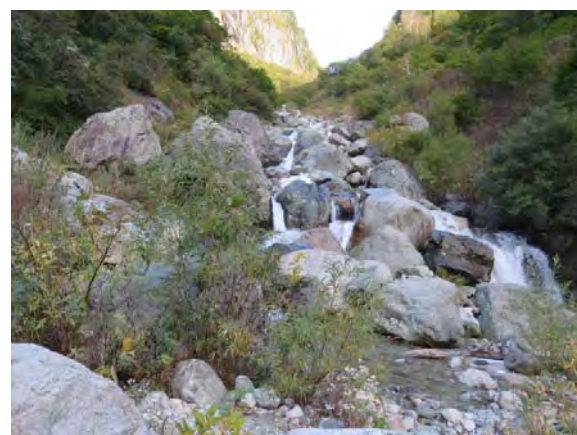
### ・10月12日（水）

5:40出発、7:50内蔵助谷出合、10:20別山谷出合、11:10白竜峡、12:45十字峡、15:00仙人谷ダム、16:20阿曾原温泉

ロッジから黒4ダムを経由して川底へおりるのに約1時間要す。川原から見上げるとシーズンなので既にダムから観光放流をしていた。しばらくは余り高巻きはなく河原沿いに進む。やがて内蔵助谷出合に到着。現役2年生の夏山でハシゴ谷乗越から内蔵助平を歩いたことを思い出しながら沢を見上げる。



黒4ダムを見上げる



内蔵助谷出合

道は次第に川底から離れ高巻きが始まる。谷が狭くなり V 字型の溪谷を黒部の豊富な水が音を立てながら流れていく。やがて岩壁に付けられた木製のハシゴが現れる。下を見るとかなりの高度感があるが手摺がきちんと付けられているので恐怖感は余り感じない。



高巻きを過ぎて別山谷出合に着く。ここが本日の最難関箇所だった。先行パーティが岩壁の登攀に時間を要し渋滞している。時間待ちのため宿で貰った弁当を取り出して食べながら目でルートを探していると、登攀中の女性が落した石が下にいたリーダーらしき男性の顔に当たる。ヘルメットを着けていたが直接顔に当たったらしく、鼻血が止まらない。



因みにヘルメット着用しているのは登山者の約半数程度だったが、最近この付近で微弱地震が頻発しているという情報もあり小生は持って行ったのだが、岩棚やトンネル内で頭を岩にぶつけることも多く、ヘルメットはあった方がよいと思った。

やがて本日のハイライト十字峡に着く。剣沢は流石に水量が多いが、反対側の棒小屋沢側は意外に水量が少ない。



手前が剣沢、向うが棒小屋沢、横に黒部本流が流れる

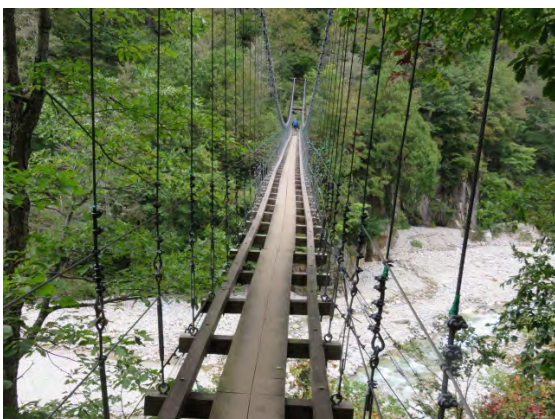


剣沢を跨ぐ吊り橋

剣沢に架かる吊り橋を渡ってさらに左岸の水平歩道をたどって行くと、右手に黒4地下発電所から出る送電線の穴が見えてきた。高速道路でよく見かけるトンネルの出入り口のような光景が珍しい。



黒部本流に架かる東谷の吊り橋を渡り、初めて右岸側に出る。道が広くなり、車道を歩くので随分楽になる。川幅も広くなり、対岸に近年開かれた仙人温泉から池の平小屋に向かう雲切新道が見える。



やがて仙人谷ダムが現われ、堰堤の上を渡ってダムの施設内を通り更に進むと急な登りとなる。これが予想外にきつく、2ピッチ要して何とか登り切ると今度は下りとなる。ようやく小屋の屋根が見えてホットする。それにしても最後にこんな苦労があるとは思ひもなかった。

小屋はほぼ満員で、TVでパ・リーグのCS、日ハム対ソフトバンク戦を放送していた。カーブ戦が気にかかるが、5分程下った処にある名物の露天風呂へ入る。流石にいい湯で疲れを癒すことが出来た。



仙人谷ダム



阿曾原温泉小屋

#### ・10月13日(木)

5:40出発、8:00折尾谷、9:45志合谷、10:40蜷谷、13:30樺平

小屋を出て間もなく、今日も又急な登りとなる。2ピッチで水平歩道にでる。まさしく水平につけられた道が川底から高度差200mもある岩壁に掘られ続けている。大きな滝が見えてくると折尾谷が現れる。道は雪崩を避けるためか、沢の下部にある堰堤の中にトンネルが掘られている。



水平歩道



折尾谷の滝



滝の下の堰堤

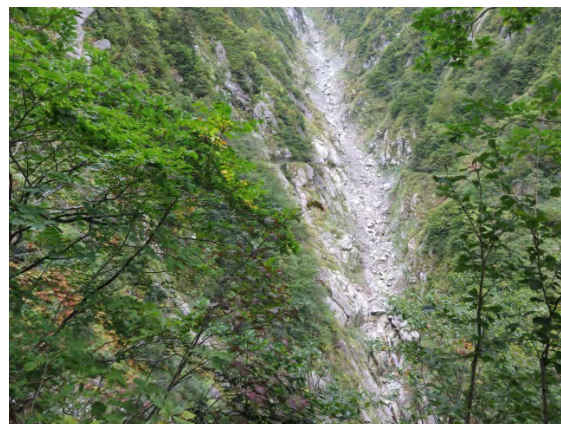


トンネルの入り口

対岸に大きな岩壁が現れ（大太鼓と呼ばれるものか）、遥か遠くには檜平の駅舎も見え始める。更に進むと志合谷のトンネルが現れる。中は真っ暗で水が溜まっていて、ライトを点けて頭を天井にぶつけないように慎重に進む。かなり長く続くトンネルで、ようやく外に出ると明かりがまぶしい。振り返ると志合谷の対岸の道がすぐ目の前に見えているが、これの通過に1ピッチかかっていた。



大太鼓



志合谷 沢の裏をトンネルが通っている

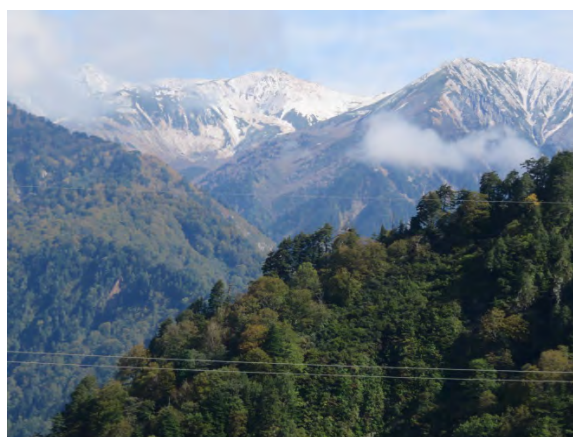


トンネルの入り口

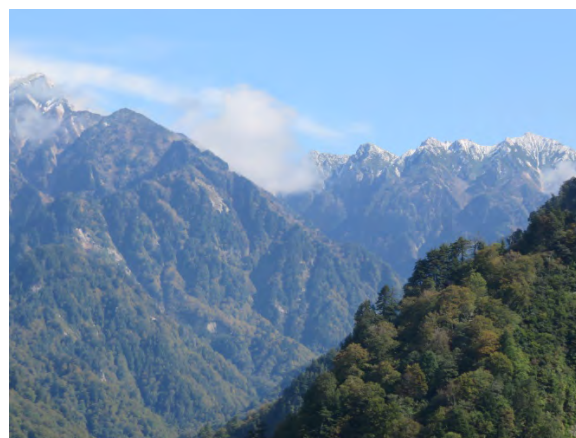


岩壁に掘られた道

いつの間にか溪谷が次第に広くなり、遠くに白馬連峰が見え始める。



白馬3山 左から白馬岳、杓子岳、鑓ヶ岳



不帰嶮

今日の行程は最初の急登を除くとあまり登り下りがなく、比較的楽な行程で写真を撮りながら歩いて来たのだが、最後の樺平への下りが昨日に増してきつく、駅前に下り着いたときは足がガクガクとなり衰えを感じる。2日間で延べ30Km,万歩計は55,000歩を示していた。

売店で缶ビールを買い、トロッコ列車に揺られて宇奈月温泉へ出て、駅近くの温泉で疲れをとる。帰路は富山地鉄で新黒部駅へ、北陸新幹線の黒部宇奈月温泉駅で乗り換え、金沢駅から北陸本線特急サンダーバードで京都、新幹線のぞみ号で広島へ21:31分に帰る。



ばてた姿



トロッコ列車に乗り込む



季節がら 樺平へ向かう列車は満員



宇奈月温泉